

メンタルストレス尿検査 ココシル

株式会社プリメディカ

<https://cocoshiru.com/>

隠れたストレスを尿検査ココシルで可視化して、メンタルダウンの早期予防へ！

| | | | | |
|--|-------------------|-----------|-----------|--|
| 提供可能エリア (可能エリアが青塗) | | | | サービスの概要・特徴 問診によるストレスチェックでは、職場に遠慮してご自身の本音を書けない従業員も少なくありません。「ココシル(R)」はメンタルストレスを客観的にスコア化し、過度なストレスにアラートを立てる検査です。ストレス蓄積の「声なき声」を客観的に拾い上げ、適切なケアにつなげることでアブゼンティズム・プレゼンティズムの低減・ワークエンゲージメントの向上につなげましょう。 |
| 北海道 | 東北 | 関東 | 甲信越 | |
| 北陸 | 東海 | 近畿 | 中国 | 「ココシル(R)」サービスは、尿検体を郵送いただいた後に、オンラインで結果レポートを返却させていただきます。結果レポートには、専門医によるストレスケアのアドバイスが掲載されており、さらにアラートの立った方には臨床心理士・公認心理師等によるオンラインカウンセリングを1回無償でご提供し、ご自身の抱える課題の整理や解決策への気づきをサポートいたします。ココシルと組み合わせられるEAPのご紹介も承りますので、お気軽にご相談ください。 |
| 四国 | 九州 | 沖縄 | 海外 | |
| 提供可能法人規模 (●:実績あり、○:提供可) | | | | |
| 50人未満 | 1,000人未満 | 10,000人未満 | 10,000人以上 | |
| ○ | ● | ○ | ○ | |
| サービスの目的・期待される効果 【凡例】●:実証評価>●:理論的裏付け>○:ユーザー評価 | | | | |
| 基盤整備 | 法制度対応 | | — | |
| | 制度・施策体系の整理 | | — | |
| | 人事・産業保健業務の効率化・負担減 | | — | |
| | 組織状況の把握 | | ○ | |
| 取組の普及・浸透 | サーベイ受検率向上 | | — | |
| | 相談窓口の利用率・認知率向上 | | — | |
| | プログラムへの参加率・利用率向上 | | — | |
| | 不調の早期発見・対応 | | ● | |
| | ヘルスリテラシー・意識向上 | | ○ | |
| | 仕事のストレス要因低減 | | — | |
| 心の健康・業務パフォーマンス | 心理的安全性・上司のサポート力向上 | | — | |
| | 周囲のサポート力向上 | | — | |
| | 生活習慣の改善 | | — | |
| | 健康状態・心理指標改善 | | — | |
| | アブゼンティズム改善 | | — | |
| | プレゼンティズム改善 | | — | |
| ワーク・エンゲージメント向上 | | — | | |
| 従業員エンゲージメント向上 | | — | | |
| 労務指標改善 (離職率、残業時間等) | | — | | |
| 導入企業の評価 <目的> 問診ではわからない組織のストレス状況の可視化および不調者への早期対応。 <方法> 若年層を中心とした約30名の従業員に、メンタルヘルスクア対策として「ココシル」を用いた検査を2回実施。検査間は約3か月の間隔をあけて、測定値の変化を確認。測定結果は匿名化され、受検者本人とメンタルサポート室以外は閲覧できない仕様で運用（なお、会社への結果共有の同意は、ココシル初回受検時の会員登録の際に取得）。 <結果> ストレスチェックで「高ストレス」に該当しなかった従業員の中にも、メンタルアラートが発令されるケースが確認された。全受検者のメンタルアラート発生率から、組織状況を可視化することができた。また、メンタルアラートの発令された者にはメンタルサポート室が面談を行い、早期の状態把握・対応につながった。さらにココシル受検者全員と人事担当者を中心としたプロジェクトチームが面談を行うことで、普段話題に上げることの少ない各個人のストレス状態について確認することができた。ココシルを受検した従業員の70%以上から、ココシル受検結果の確認から会社の担当者による事後措置までの全体の流れを通して、ストレスに対する関心や理解が深まったと回答が得られた。 | | | | |

メンタルストレス尿検査 ココシル

株式会社プリメディカ

<https://cocoshiru.com/>

| |
|---|
| 理論的裏付け 採用している理論の概要 ココシルは、尿中のバイオピリンという物質を測定する検査です。バイオピリンは、過度なストレスに伴う酸化ストレス状態の亢進によって上昇するといわれています。実際に、バイオピリンとメンタルストレス・睡眠障害・精神疾患との関係は国内外にて広く報告されており、メンタル不調の程度に応じてバイオピリン濃度が増減することがわかっています。以上より、ココシルはメンタル不調者の早期発見に貢献できる検査といえます。 |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div> <p>バイオピリン U/g (ng/ml)</p> <p>統合失調症の重症度スコア</p> </div> <div> <p>バイオピリン U/g (ng/ml)</p> <p>うつ病の重症度スコア</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典: Eur Neuropsychopharmacol. 2005 May;15(3):249-52.</p> |

| | | | | | |
|---|--------------------|------------|-----------------|----------------------|---------------|
| 実証評価 | | | | | |
| 学術介入の有無 | 学術研究機関等による科学的な効果検証 | | | 学術研究期間等が介入しない独自の効果検証 | |
| エビデンスの水準 | ランダム化比較試験 | 非ランダム化比較試験 | 単純前後比較などの準実験的研究 | コホート研究 | 横断研究または症例対照研究 |
| 実証評価の結果概要 ココシルのメンタルアラート発令者には、ストレスチェック高ストレス該当者以外も含まれておりました。また、ココシルの高スコアは、環境要因と相関している可能性が見い出されております。実際に、職業性ストレスチェックにおける「ストレスに影響を与える他の因子」がココシル測定値と相関しており、職位変更や担当顧客変更のあったケースでココシル高スコアを示す事例もありました。 | | | | | |